

Library

町生涯学習センター図書室からの3月のおすすめ図書

Library Information

図書室からのお知らせ

■0歳児からのおはなし会について

図書室では、毎月第2木曜日に、「0歳児からのおはなし会」をおこなっています。絵本の読み聞かせのほか、手袋人形、わらべうたなど、楽しい内容です。子育て中の保護者の皆さん、また、おじいちゃん、おばあちゃんも、子どもたちとお気軽にご参加ください。

■日時 3月12日(木)
午前10時30分～

■会場 図書室おはなしのへや

●図書室の利用や、図書の検索・リクエストなどについてのお問い合わせ先
町生涯学習センター図書室
☎096-234-2447(内線331)

第18回「このミステリーがすごい！」大賞受賞作 歌田 年 著 / 『紙鑑定士の事件ファイル』



宝島社

小説

どんな紙でも見分けられる男・渡部が営む紙鑑定事務所に「神探偵」と勘違いした女性が浮気調査の依頼にやって来る。一枚のプラモデルの写真を手掛かりに調査を始めたら、伝説のプラモデル造形家・土生井と出会い、意外な真相にたどり着く…。紙や模型の蘊蓄(うんちく)が面白く、一気に引き込まれてしまう1冊です。

子どもも大人も楽しめる絵本

ヨシタケシンスケ 作 / 『なんだろうなんだろう』



光村図書出版

児童書

なんだろう、なんだろう、学校ってなんだろう。楽しいってどんな気持ち？友だちって？しあわせて？ふとした瞬間にかぶ12の「なんだろう」を徹底追究。抽象的で漠然としたテーマを、しなやかに、具体的に、ユーモアたっぷりに描きます。自分で考えるためのきっかけになってくれる、子どもも大人も楽しめる絵本です。

光秀の末裔が明かす歴史捜査ミステリー 明智 憲三郎 著 / 『明智の末裔たち』



河出書房新社

一般書

生きて、真実を語り継げ…。本能寺の変までのダイジェストと、その後400年にわたり明智一族に待っていた数奇な運命を描く。そこには驚くべき光秀の計画と、時代に翻弄されながらもたくましく生きてきた子孫たちが浮かび上がる。明智残党狩りの手を逃れた光秀の子・於律丸の子孫である著者が明かす、歴史捜査ミステリーです。

今あるものを生かしてゆったり暮らす 主婦の友社 編 / 『ものとうまくつきあう暮らしと習慣』



主婦の友社

教養娯楽

あるものを生かして、ゆったり暮らす。何を捨てるかより、どう生かすか。だからものが多くても、少なくともOK。自分の「適正量」を知って、もっとラクに、もっと心地よく、穏やかな暮らしを始めましょう。ものとうまく付き合い、ゆったり暮らす12の家族の習慣や工夫を、3つの「心がけ」とともに紹介。おすすめの本1冊です。

町生涯学習センター図書室のご利用について

■開館時間 午前9時～午後5時 ■休館日 毎週火曜日、年末年始 ■貸出冊数・期間 1人5冊まで、15日間

この本には、認知症になった母とその母を介護する90代の父、東京に住む娘との家族の風景を記録として残し、映画化されたエピソードが綴られています。

著者が仕事をしながら乳がん治療をしている矢先、離れて暮らす父と認知症になった母のことが気掛かりになり、東京と広島を往復する日々が続きます。

今月の案内人



内村 喜久子さん
(吉田区)

記憶が薄れていく母と介護する父を支え、悩み、時には笑い、誰もが直面する家族の問題をユーモア

Read This Story!

～ My Favorite Story ～ 私のおすすめ図書

『ほげますから、よろしくおねがいします。』(信友直子著)

両親の気丈な言葉に背中を押されても、離れて暮らすことに良心の呵責を抱く映像作家の娘。時に涙で攪り続けた超高齢夫婦の介護の日常は、ほっこりする愛と絆で溢れていた。

を交えながら書かれています。

家族間の悩みは、家族で抱えてしまいがちで、現代社会でも問題になっています。著者は、そんな大変な状況でも家族の記録として日常生活を撮影し、普段、気付かない些細な事柄や会話をドキュメンタリーとして残しています。

私は、現在子育て真っ最中です。子育てが落ち着く頃に、新たな問題に直面するかもしれま

せん。そんな時は、悩みを1人で抱え込まず、周囲の助けも必要だということに気付かされた、1冊です。

●あなたの「おすすめ図書」をご紹介しますませんか？

町生涯学習センター図書室

☎096-234-2447(内線331)

Public Hall

町公民館からのお知らせと話題

▶ 町公民館からのご案内

町民大学「閉講式」を中止します

町教育委員会では、令和元年度町民大学の閉講式を次のとおり予定していましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、中止します。皆様のご理解とご協力をお願いします。

●開催日時

3月25日（水）

●会場

町生涯学習センター・ホール

●講師

岸 信子 さん

●講演

「7男3女の子育て日記」

- 公民館講座や町民大学などに関するお申し込み・お問い合わせ先
町教育委員会公民館事務局
☎096-234-2447(内線321)

町公民館

第23回町公民館大会

2月15日（土）町生涯学習センターで、第23回町公民館大会を開催しました。同大会は、町教育委員会が地域の公民館活動の活性化につなげようと毎年開催



▲公民館活動の課題について講演する山城さん

公民館自主講座参加者によるレクリエーションダンスの披露や南三箇区のごうさんもん元気活動推進事業「竹細工作成を通じた地域

住民の交流促進活動」の活動発表が行われました。

また、熊本大学教育学部教授の山城千秋さんが「自治と文化を築く公民館の創造」と題して講演。熊本地震時の県内各地の公民館活動について紹介し、人口減少社会における社会教育や公民館活動の課題などについて紹介がありました。

町公民館出前講座

ステップアップ講座

2月18日（火）町農業研修センター「ろくじ館」で、ステップアップ講座「ポプリ作り」を開催しました。ポプリとは、乾燥させた花や葉などの香料を混ぜ合わせてガラス瓶などに入れた室内香のひとつで、インテリアとしても使われます。

好きな香りの花を選び、モスボールにホットボンドを使って貼り付けていきます。思い思いの模様を描くなど個性を生かしたオリジナル作品が完成しました。講座後、参加者は「地区で集まって皆さんと一緒に作ってみたいですね」と感想を述べました。



▲思い思いのポプリを作成する参加者ら

参加者した7名は、講師の森田光樹子さんの指導を受けながら、ピンク色のバラや紫色のラベンダーなど

Human Rights

人権 ～心豊かに暮らすために～

令和元年度甲佐町就学前人権教育部会第2回研修会を開催

1月25日（土）、町生涯学習センター研修室にて「令和元年度甲佐町就学前人権教育部会第2回研修会」が開催されました。町内保育園や町内小学校の職員、町職員など45名が参加しました。

南小国町教育委員会学校教育・人権教育指導員の倉岡巧さんが、「ひとり一人が輝く甲佐町に」という演題で講演。倉岡さんは、「人権とは、自分とともに他人の大切さを認めることです。差別を目にしたとき、正

しい判断を行うためには、偏った見方をせず真実を知ることが大切です」と、自身の体験談を交えながら話しました。参加者は、倉岡さんの講演に興味深く耳を傾けました。

講演を終えた参加者からは、「自分の何気ない言葉や行動が、人を傷つけていないか考えさせられた」「差別や人権について普段あまり考えることがないので大変良い機会になった」「未来ある子どもたちが正しい人権感覚を身に付けることができるように、私も日々努力していきたい」といった感想が聞かれました。

今回の研修会は、就学前の子ども

たちに関わる保育園などの職員にとって、人権について学ぶ良い機会となりました。



▲講演を行う南小国教育委員会の倉岡さん

- 人権に関するお問い合わせ先
町教育委員会社会教育課
☎096-234-2447(内線324)